

第2回検討会の議事概要

1. 第2回検討会の主な内容

六甲アイランドの現状（強み、弱み）を踏まえて、『住まう目的』、『集う目的』、『働く目的』に関して、それぞれSWOT分析の例示を示し、今後のまちづくりの戦略の方向性について意見交換した。

【主な意見】

（住まう目的）

- ・ちょっとした上質な生活を体験できるような場や、地域の皆さんが、例えば、絵を描いたり、若い頃できなかつた事に取り組むなど様々な自己表現の場になってもいいのではないか。
- ・国際学校があるというのは強みであり、それを活かしてグローバルな人の交流ができればいいのではないか。
- ・ダイバーシティといった多様性のあるまちが六甲アイランドの強みではないか。
- ・六甲アイランドは賑わいもあり閑静な住宅もある。リバーモールもありまちの一角では毎日何かがあり、今後も多機能都市・複合都市というようなまちづくりで両立できると思う。
- ・多機能・複合都市という視点は今後の将来像を考えるうえで大事。

（集う目的）

- ・今後の六甲アイランドを近未来地区と考えたとき、イベントが出来る地域、文化的な行事が行える地域、スポーツを行える地域といった、地域での発展の仕方が重要だと思う。
- ・週末だけでも高齢者が利用できるような施設があればいいと思う。
- ・ハロウィンパレード等のイベントを通して、外からも六甲アイランドは楽しい場所だと思っていただければいいと思う。

（働く目的）

- ・六甲アイランドは日本に来た外国人に対応するような外国人コミュニティもあるので、集えるまちや将来のまちづくり整備の中で外国人労働者の就労機会を増やすなどの政策もありかと思う。

（その他の意見）

- ・六甲アイランドは賑わいのあるまちを望むのか、全然違う静かな落ち着いたまちを望むのか、六甲アイランドに住む方々はどのような考えを持っているのか。

2. 検討会後のSWOT分析に対する各委員からの意見

【住まう目的】（太字：戦略の方向性）

- ・老人・子ども、子育て世代、障がい者、外国人にも優しい、誰もが住みやすいまち。
- ・イベント広場周辺の土地利用を図り、保育園・子ども施設や高齢者施設、住宅・公共施設などの複合施設が立地すればいい。
⇒ 例：子どもから高齢者まで誰もが住みやすいまちづくり（強み×機会）
- ・今後、高齢者が増加するため、高齢者向け住宅やサ高住などの施設が必要ではないか。併せて、介護の訓練学校などの施設も整備してはどうか。
- ・障がい者施設や高齢者施設に特化したまちにしてはどうか。
⇒ 例：高齢者にとって優しく住み易いまちづくり（強み×脅威）
- ・マンション住宅の住み替えなど、島内で循環できる仕組みがあればいい。
⇒ 例：多様な世代のニーズに合わせた居住環境の創出（強み×機会）
- ・住民としては、日常利便施設（スーパーやドラッグストアなど）が充実して欲しい。
- ・買い物は島内でしたほうがいい。（住民で地元の店を育てる意識が必要）
⇒ 例：地域利用の促進による生活に身近な商業機能の充実を目指したまちづくり（弱み×機会）
- ・高い安全性が強み（災害時、本土から六アイのホテルへ避難）。
⇒ 例：災害時にでも安心して暮らせるまち（強み×脅威）

【集う目的】（太字：戦略の方向性）

- ・スポーツ、芸術施設があるので、それらを活用できるようなまちになればいい。
例えば、POPカルチャー、サブカルチャーなどに特化してもいい。
⇒ 例：文化、スポーツ施設を活かした地域文化の魅力発信によるまちづくり（強み×機会）
- ・AOIA跡地を、リバーモール・マリンパークを一体と捉えて、レジャー・レクリエーション施設や夜間も楽しめるような飲食・歓談できる場になればいい。
⇒ 例：ウォーターフロント区間を活用したレクリエーション、海辺空間の賑わい創出（強み×機会）

- ・外国人を取り込む方法として、例えば、国際大学や専門学校の留学生が、リバーモール沿いでライブパフォーマンスなどを行い、外国人観光客も楽しめるような賑わいづくりをしてはどうか。

⇒ 例：訪日外国人との交流による賑わいづくり（強み×機会）

- ・週末だけでも高齢者等が体験できるような施設があれば良い。
- ・周辺地域にはない集客施設が立地すればいい。

⇒ 例：非日常を体感できる施設立地等による賑わいづくりの創出（弱み×機会）

【働く目的】（太字：戦略の方向性）

- ・外国人が集えるまちの機能はあるため、外国人労働者の就労機会を増やすなどの政策もありではないか。

⇒ 例：外国人労働者の就労機会の創出（強み×機会）

- ・市街地からライナーに乗り、駅に直結で雨に濡れずに職場に通える環境があるのは大きな強み。
- ・今まで先進的な取り組みを実行し、誰もがわくわくする魅惑あるまちづくりを進めてきたので、今後もそのような方向性を打ち出しながらまちづくりを進めていくことが六甲アイランドの強みにならないか。

⇒ 例：先進的で魅惑的な職場環境の充実（強み×機会）